

FIELDWORK

学外研修 | 国文学科

文学の舞台を巡ったり、言語景観を観察したり、「本物」を実際に体験する学びを重んじています。実地見学や実習などのリアルな体験を通じて、作品世界を多角的な視点で捉える力を磨きます。

PICKUP:01

神話・伝説、万葉の故地で学ぶ

葛城地域を散策。
當麻寺にて中将姫伝説や二上山の天津皇子伝説を学ぶ。

見て、触れて、聴いて、
国文学の世界を体感する

PROFESSOR'S VOICE

神話・伝説、万葉の故地で、 身近にあるすべてのものを教材に

奈良は、古事記や万葉集が生まれた場所。神話や伝説、最古の文学作品がすぐそばに感じられるこの環境は、他には無いぜいたくな学び場であると自負しています。そして「奈良で学ぶ」ということは、山や川、遺跡や神社仏閣など、時を超えて自分たちの身近に存在し続けるすべてのものが教材になるということ。私が担当するフィールドワークでは、教室を飛び出し、その場所に息づく教材を通じて、

本物の学びにつなげています。また、「触れる」「食べる」といった実体験を楽しむことの重要性も伝えていきます。学びとは、楽しいもの。ともに奈良という地を歩き、学ぶことを楽しみませんか。



専門分野 / 上代文学
鈴木 喬 准教授



STUDENT'S VOICE

伝説が息づく地で、解像度を高めて物語を見る

「中将姫伝説」と関係の深い當麻寺でのフィールドワークへ。本堂である曼荼羅堂では、奈良時代に中将姫が一晩にして織り上げたと言われる織物「當麻曼荼羅」を実際に見ることができました。極楽浄土の様子が描かれた、4メートル四方の織物はまさに圧巻。小学生の頃に水木しげるのゲゲゲの鬼太郎に触れて以来、妖怪や神話が好きなのですが、伝説のゆかりの地を実際に訪れたことでさらに興味が広が

り、中将姫を題材にした文学を新たに学ぶきっかけにもなりました。文献を読むだけで満足するのではなく、今後も自分の足でいろんな場所へ赴き、解像度を高め、大好きな古典文学や民間伝承への理解を深めていきたいと思っています。



国文学科 2年
(東海大学付属福岡高等学校出身)
深町 開 さん



その他のフィールドワーク

PICKUP:02

浮世絵の制作体験



浮世絵の制作を通じて、 江戸時代の出版文化を学ぶ

国文学科では「体験型講義」から得る学びを大切にしています。これまでに実施してきたテーマの一つが、「浮世絵を摺る」。数枚の版木を用いた摺りの工程を経て、色鮮やかな浮世絵に仕立てられていくさまは、見事というほかありません。江戸時代に花開いた出版文化を、本物を通して学生たちが体感する、貴重な機会となりました。

- 実地見学踏査
- 伝統芸能鑑賞
- 身体表現実習
- 学外研修(飛ぶ鳥の「明日香」を巡る、谷崎潤一郎の文学と阪神間の文化、奈良公園周辺の言語景観調査など)